

## NY マーケットレポート (2017年11月27日)

NY 市場では、米国債利回りの低下を受けて、ドルは主要通貨に対して軟調な動きとなった。ただ、次期 FRB 議長に指名されたパウエル FRB 理事の公聴会や、米税制改革の行方を見極めたいとの思惑もあり、やや下値は限定的となった。そして、サイバーマンデー(感謝祭翌週の月曜日)の今年の売上高が過去最高を記録する見通しとの報道を受け、小売り関連を中心に米株価が上昇したことを好感して、ドル円・クロス円は堅調な動きとなった。しかし、「北朝鮮がミサイル発射準備の可能性、政府が信号感知し警戒強化」との報道を受けて、リスク回避の動きが強まり、ドル円・クロス円は軟調な動きとなった。ドル/円は、一時 110.84 まで下落し、9/15 以来の安値を付ける動きとなった。一方、先週末に大手格付け会社が南アの格付けをジャンク級に引き下げたことを受けて、南ア・ランドが大きく下落したが、引き下げを示唆していた別の大手格付け会社が投資適格に据え置いたことを受けて、ランドは主要通貨に対して買い戻された。

### 2017年11月27日 (月)

TOKYO	東京終値	東京高値	東京安値
USD/JPY	111.36	111.69	111.32
EUR/JPY	132.83	133.23	132.72
GBP/JPY	148.43	148.87	148.24
AUD/JPY	84.77	85.02	84.58
EUR/USD	1.1927	1.1936	1.1912

アジア主要株価	終値	前日比
日経平均	22495.99	-54.86
ハンセン指数	29686.19	-180.13
上海総合	3322.23	-31.59
豪ASX200	5988.77	+6.22
インドSENSEX	33724.44	+45.20

欧州主要株価	終値	前日比
英FT100	7383.90	-25.74
仏CAC40	5360.09	-30.37
独DAX	13000.20	-59.64

米国主要株価	終値	前日比
米ダウ平均	23580.78	+22.79
S&P500	2601.42	-1.00
NASDAQ	6878.52	-10.64

NEW YORK	NY終値	NY高値	NY安値
USD/JPY	111.09	111.25	110.84
EUR/JPY	132.18	132.74	132.09
GBP/JPY	147.96	148.59	147.84
AUD/JPY	84.47	84.80	84.35
EUR/USD	1.1898	1.1961	1.1896

南北米主要株価	終値	前日比
トロント総合	16042.12	-65.97
ボルサ指数	47275.32	-666.56
ボベスパ指数	74058.94	-98.44

\*一部暫定値

コモディティ	終値	前日比
NY GOLD	1294.40	+7.10
NY 原油	58.11	-0.84

#### 11/28 経済指標スケジュール

16:00	【トルコ】11月経済信頼感
16:00	【ドイツ】10月輸入物価指数
16:45	【フランス】11月消費者信頼感指数
17:30	【スウェーデン】10月貿易収支
17:30	【スウェーデン】10月小売売上高
18:00	【欧州】10月マネーサプライM3
19:00	【南アフリカ】4Q BER企業信頼感
20:30	【トルコ】9月住宅価格指数
21:00	【ドイツ】12月GfK消費者信頼感調査
22:30	【米国】10月卸売在庫
22:30	【カナダ】10月原料価格指数
22:30	【カナダ】10月鉱工業製品価格
23:00	【米国】3Q住宅価格指数
23:00	【米国】9月S&P/ケース・シラー[総合20]
23:00	【メキシコ】10月失業率
00:00	【米国】11月消費者信頼感指数
00:00	【米国】11月リッチモンド連銀製造業指数

米国債利回り	本日	前日
2年債	1.74%	1.74%
3年債	1.83%	1.85%
5年債	2.05%	2.06%
7年債	2.22%	2.23%
10年債	2.33%	2.34%
30年債	2.77%	2.76%

ドイツ10年債	0.34%	0.36%
英国10年債	1.25%	1.25%

#### 11/28 主要会議・講演・その他予定

- ・米7年債入札
- ・パウエル次期FRB議長 承認の公聴会

## NY 市場レポート

### 〈海外の話題〉

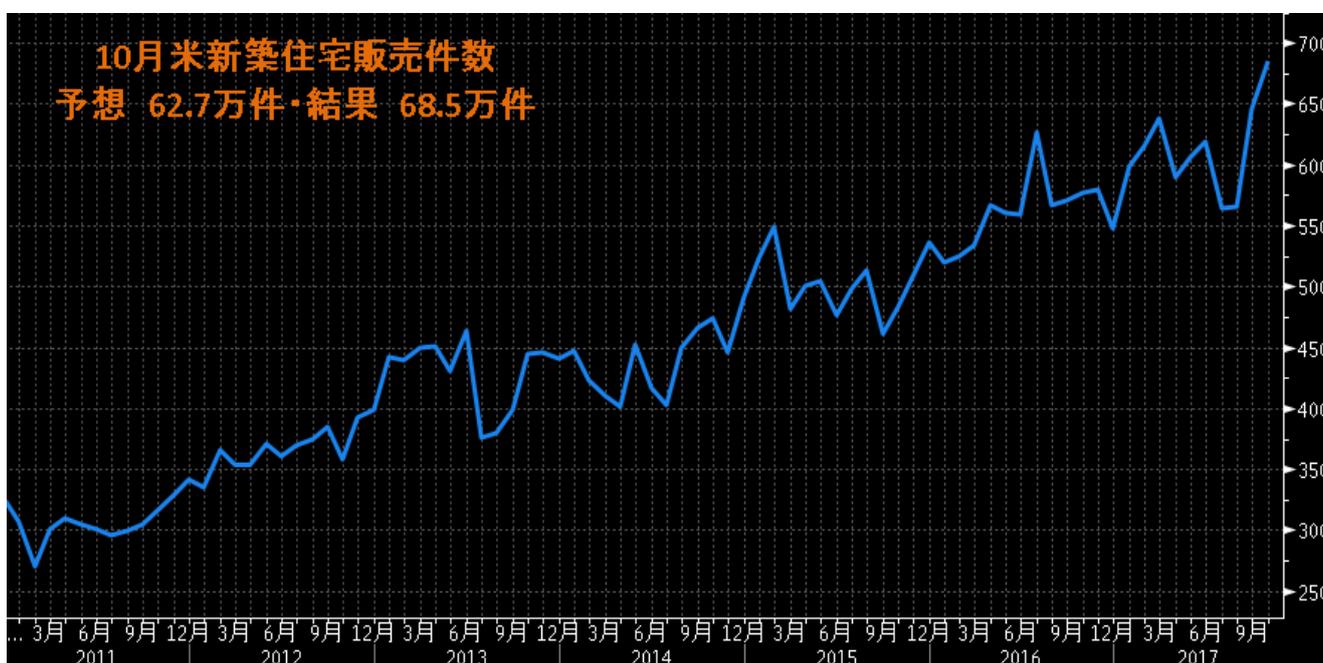
米感謝祭週末明けの月曜日（サイバーマンデー）の電子商取引、最初の3時間では前日比で+40%、前年比+30%との報道。

0:00

### 〈 経済指標の結果 〉

10月米新築住宅販売件数 68.5万件（予想 62.7万件・前回 64.5万件）  
 前回発表の66.7万件から64.5万件に修正

10月米新築住宅販売件数（前月比） 6.2%（予想 -6.1%・前回 14.2%）  
 前回発表の18.9%から14.2%に修正



出所：Bloomberg

### 経済指標データ

#### 〈新築住宅販売〉

	10月	9月	8月	7月	6月
販売戸数	68.5	64.5	56.5	56.4	61.9
前月比 (%)	6.2	14.2	0.2	-8.9	2.1
	(万件)				
	10月	9月	8月	7月	6月
北東部	5.6	4.3	3.7	4.2	4.3
中西部	7.3	6.7	6.8	6.6	6.6
南部	38.3	37.8	31.6	31.2	33.3
西部	16.7	15.7	14.4	14.4	17.7
	(万件)				

#### 〈 経済指標のポイント 〉

10月の米新築住宅販売件数は、年率換算で前月比+6.2%の68.5万件となり、件数ベースで2007年10月以来、10年ぶり高水準となった。前年比では+18.7%だった。販売物件の中間価格は、前月比-3.7%の31万2800ドル、平均価格は+5.0%の40万200ドル。市場で売れ残った住宅在庫は、前月比+1.4%の28.2万件、販売に対する在庫率は4.9ヵ月と前月から0.3ヵ月低下、適正水準とされる6.0ヵ月を下回った。地域別では、北東部が+30.2%、中西部は+17.9%、西部が+6.4%、南部が+1.3%だった。

0 : 30

◀ 経済指標の結果 ▶

11月ダラス連銀製造業活動指数 19.4 (予想 24.0・前回 27.6)



出所 : Bloomberg

1 : 10

北朝鮮がミサイル発射準備か、政府が信号感知し警戒強化 (TBS) との報道が海外で材料視され、円が買われる動きとなった。

1 : 30

◀米財務省 2 年債入札▶

最高落札利回り・・・1.765% (前回 1.596%)  
 最低落札利回り・・・1.650% (前回 1.480%)  
 最高利回り落札比率・・・97.93% (前回 82.65%)  
 応札倍率・・・2.73 倍 (前回 2.74 倍)

2 : 35

◀ 要人発言 ▶

カプラン・ダラス連銀総裁

- ・「近い将来の利上げを支持」
- ・「雇用市場、数カ月先に過熱が進む」

3 : 00

◀米財務省 5 年債入札▶

最高落札利回り・・・2.066% (前回 2.058%)  
 最低落札利回り・・・1.900% (前回 1.950%)  
 最高利回り落札比率・・・12.97% (前回 77.08%)  
 応札倍率・・・2.46 倍 (前回 2.44 倍)

＜欧州株式市場＞

欧州株式市場は、アジア株安や原油価格の下落が投資家心理を圧迫した。また、独 DAX はドイツの連立協議の行方を見極めたいとの様子見ムードも強かった。

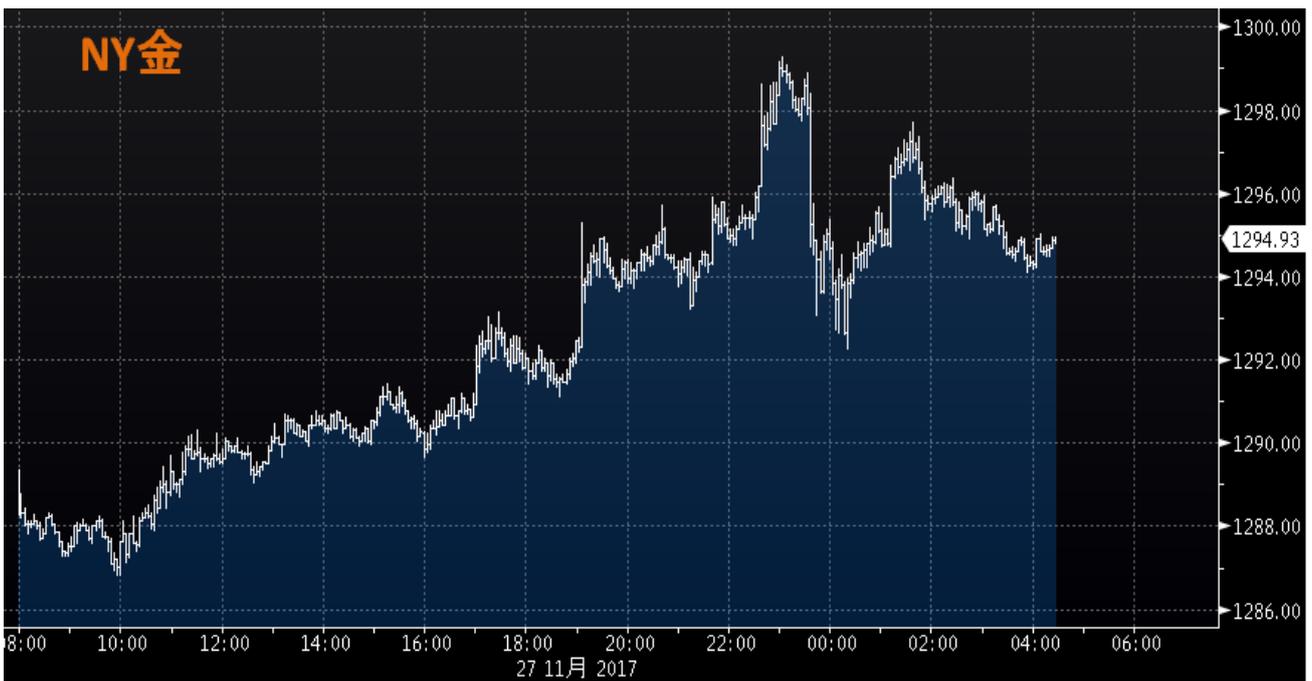


出所：Bloomberg

＜ NY 金市場 ＞

NY 金は、中心限月が前日比 7.10 ドル高の 1 オンス=1294.40 ドルで取引を終了した。

NY 金は、ドルが円などに対して下落したため、ドルの代替資産とされる金の買いが優勢となった。ただ、米 FRB の次期議長に指名されたパウエル氏の公聴会や、米税制改革の行方を見極めたいとの様子見ムードもあり、引けにかけて伸び悩んだ。

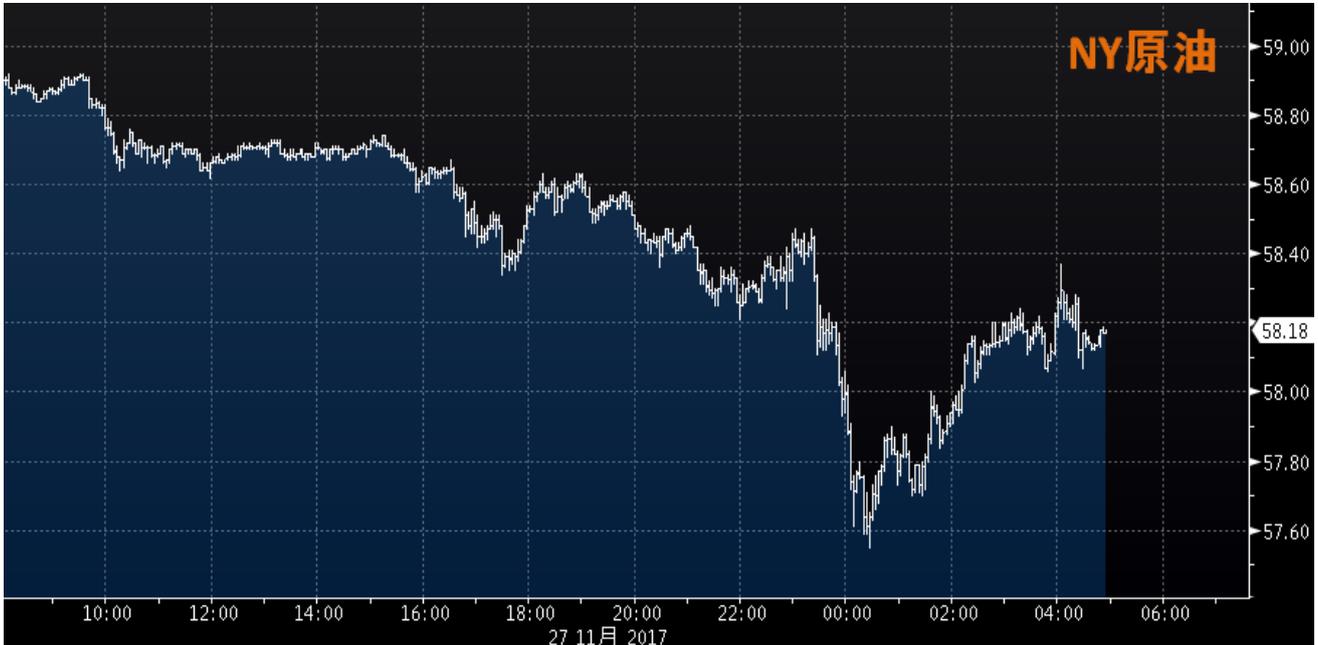


出所：Bloomberg

◀ NY 原油市場 ▶

NY 原油は、中心限月が前日比 0.84 ドル安の 1 バレル=58.11 ドルで取引を終了した。

NY 原油は、OPEC 加盟国と非加盟国の会合を控え、ロシアが協調減産の再延長に合意するかどうか不透明感が広がり、売りが優勢となった。最近の原油価格の値上がりを受けて米国産の生産増加への警戒感が強まったことも、圧迫要因となった。



出所：Bloomberg

◀ 米株式市場 ▶

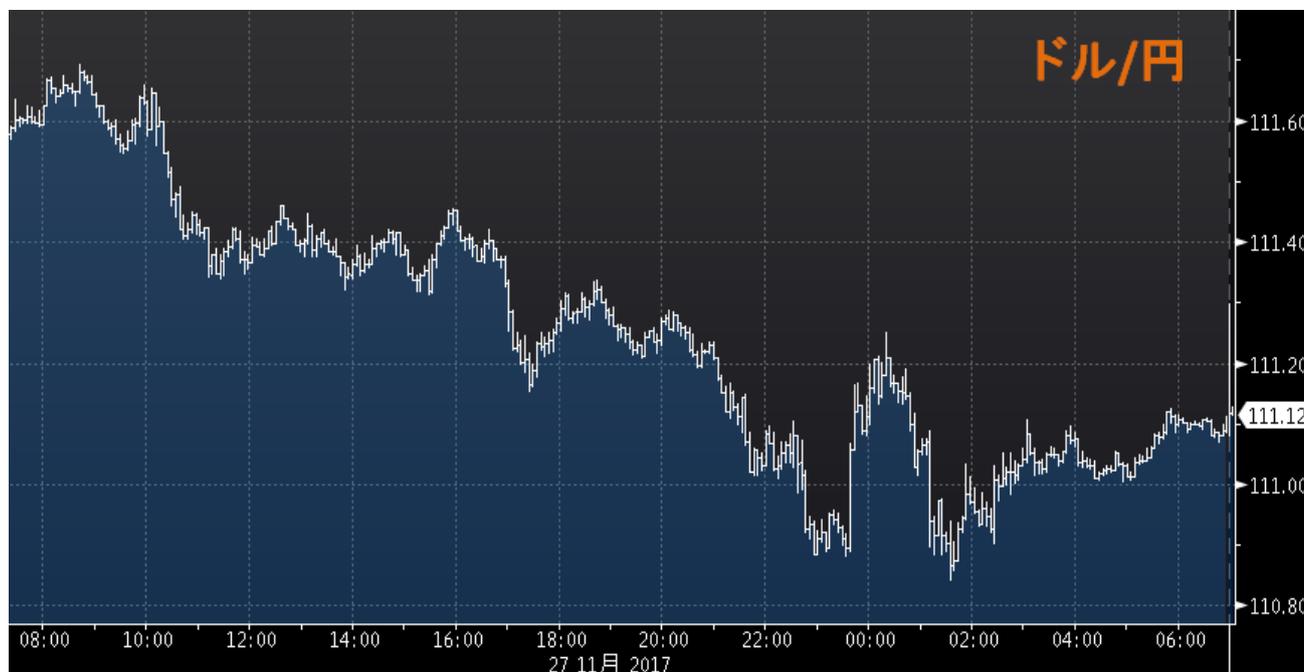
米株式市場は、米年末商戦が本格化し売り上げが前年より伸びていることから、小売業関連株を中心に上昇が目立ち、主要株価は堅調な動きとなった。ただ、その後北朝鮮がミサイル発射準備との報道を受けて、リスク回避の動きから主要株価は一時マイナス圏まで下落する場面もあった。



出所：Bloomberg

## 《外国為替市場》

外国為替市場は、米国債利回りの低下を受けて、ドルは主要通貨に対して軟調な動きとなった。ただ、110 円台では値頃感の買い戻しも入り、値を戻す場面もあった。しかし、北朝鮮がミサイル発射準備の可能性との報道を受けてリスク回避の動きが強まり、ドル円・クロス円は軟調な動きとなった。



出所：Bloomberg

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複製もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。